

平成27年 新春によせて

迎春  
2015

あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事と存じます。  
昨年は、消費税の増税や米価下落により、私たち登米市民も、経済的に大きなダメージを受けました。

東日本大震災から間もなく4年になろうとしておりますが、仮設住宅にお住まいの方々を始め、被災者の皆様には、いろいろとご苦労をおかけしているところ。改めて、更なる復興の促進に尽力してまいりたいと思っております。

さて、登米市の基幹産業であります農業においては、TPP、米価の問題を始めとして、今後も手さぐりの状況が続くかと考えております。医療・福祉においては、地域包括ケアシステムが新しく導入されます。また、人口減少の大問題に加え、著しい気候変動による集中豪雨に対する基本インフラ整備も急がなければなりません。本年もこのような諸問題に全力で取り組んで参りますので、皆様のご指導、ご助言を賜りますようお願いいたします。

今年1年が皆様にとりまして、よい年になりますようご祈念申し上げます。

宮城県議会議員 わたなべ 忠悦

## 活動アルバム



震災復興中の志津川湾（復興進捗状況視察）



JA カントリーエレベーター訪問  
（登米市農業・林業現状視察）



米山いちごハウスにて  
（登米市農業・林業現状視察）



地域の農業見学（登米市農業・林業現状視察）



登米森林組合訪問  
（登米市農業・林業現状視察）



はんとく苑クリスマス会



北上川左岸整備促進に関する  
要望活動

わたなべ忠悦は、常に皆さんの生きた暮らしをみつめます。

活動のリズム、ひらめきの音

# 議会総括質疑 & 回答要旨

平成24年11月 定例会



## 一般質問

住民の財産と生命に多大な影響を及ぼす局地的な集中豪雨が各地で発生しており、災害を未然に防ぐことが肝心です。登米市内でも住民が不安に思っている箇所が多数あり、夏川、長沼川、羽沢川の改修など、危機感を持って積極的に工事を実施する必要があると思えますがいかがですか。

※県管理の河川や道路等の危機管理について2点質問しています。(詳細はホームページに掲載しております)

## 河川改修問題

【答弁】 村井宮城県知事

危機感を持った積極的な河川改修についての御質問にお答えいたします。

近年頻発している局地的な集中豪雨により県内においても中小河川が氾濫するなど、宅地や耕地の浸水被害が発生しておりますことから、住民の生命と財産に多大な影響を及ぼす洪水被害の防止対策が急務となっております。

このため、登米市の夏川においては、橋向橋から小谷地橋までの約2.3キロメートル区間について、岩手県と調整を行いながら、堤防整備を実施しているところでございます。

長沼川については、流下能力を確保するため、萩洗地区下流において、延長約1.5キロメートルの迫川への放水路工事を実施しているところであります。

羽沢川につきましては、北上川本川の水位の影響を受ける区間の改修工事を、国土交通省が実施する予定となっておりますことから、早期の事業着手に向けて強く働きかけてまいります。

県といたしましては、過去の洪水被害の状況や周辺資産等を加味した上で、県内の河川改修事業の優先順位の見直しを行い、洪水被害の軽減に向け、計画的かつ積極的に事業を進めてまいります。



## 一般質問

宮城野原広域防災拠点について財源として見込む社会資本整備総合交付金は全体枠が縮小していくと認識していますが、従来の我が県の枠に広域防災拠点が加算されるということですか。

※宮城野原広域防災拠点について10点質問しています。(詳細はホームページに掲載しております)

## 防災拠点問題

【答弁】 村井宮城県知事

広域防災拠点整備事業につきましては、政府要望の重点要望項目の一つとして、必要な事業費をしっかりと確保するという考え方のもと、財源措置を強く要望しており、県が必要としております事業費については、国からも十分に配慮をいただけるものと認識しております。



## 一般質問

今年産米の概算金が過去最低となり、稲作農業が主体となっている我が県や個々の農家は大きな衝撃を受けましたが、県として現状をどう認識し今後どのように農業施策を展開していくのかお答えください。

※地方創生と農業農村について10点質問しています。(詳細はホームページに掲載しております)

## 農業問題

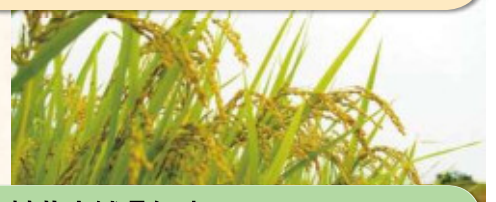
【答弁】 村井宮城県知事

今年産米の概算金の大幅な引き下げは、消費の減退や豊作による全国的な過剰在庫など、販売環境が非常に厳しい中、県産米の全量販売のための措置ではありますが、農業経営にとっては、影響が大きく極めて厳しいものと認識しております。

このような状況に対し、例えば、ナラシ対策の改善を国に要望したほか、我が県の短期的施策としては、県独自の金融支援事業の創設、主力品種ひとめぼれの再評価に向けたセールス活動の展開など宮城米の販路拡大や水田のフル活用による大豆・飼料用米などの生産拡大を推進してまいります。

また、中長期的には、米に特化した農業から、園芸や畜産などの拡大による収益性の高い農業へ転換する必要があるものと認識しております。

このため、県では、農地の大区画化や担い手への農地集積による大規模経営体の育成、園芸施設の団地化、優良種雄牛を活用した畜産振興、さらには6次産業化など経営の高度化・多角化を推進し、収益性の高い生産体制の構築により、競争力のある農業の実現に向け、取り組んでまいりたいと考えております。



変わりゆく  
学校の現状

# 市内トピックス



地域への感謝を込め

## 米山高校閉校式

平成 26 年 12 月 6 日(土)、宮城県米山高等学校創立 44 周年記念式典並びに感謝の会が米山高校体育館で挙行されました。生徒数 130 名の少人数ながら、式典には多くの方々がお見えになり、盛大なものでした。

来年 4 月、登米地区の高校は大きな転換期を迎えます。それは上沼高校、米山高校、米谷工業高校の 3 校と、登米高校商業科が統合し、福祉科を加えて、登米総合産業高校が誕生するからです。

地域とともに歩んできた統合関係 3 校は、登米総合産業高校へスムーズに移行をするため、学校としての『けじめ』と地域への『感謝』の意を表したいということで、米山高校の式典を皮切りに各校で記念式典・感謝の会が予定されています。



- 米谷工高 2月14日(土) お別れの会
- 上沼高校 2月20日(金) 感謝の集いが予定されています。

### 佐沼高校・登米高校・登米総合産業高校の3校体制による「新県立高校将来構想」



宮城県教育委員会は、平成22年3月に「新県立高校将来構想」を発表し、その第1次実施計画に登米地区の統合再編について、佐沼高、登米高、上沼高、米谷工、米山の5校体制を佐沼高、登米高と統合した職業系専門学科に福祉系学科を加えた新しいタイプの総合産業高校の3校体制に再編すると明記しました。発表後、関係校・関係機関が一体となって、新しい時代や地域のニーズにマッチした高校づくりが検討され、平成27年4月に、農・工・商・福祉学科を有する1学年240名定員の登米総合産業高校が誕生します。

## 平成 26 年 宮城県文化の日表彰

### 登米市在住者一覧

長年にわたる活動の功績が認められ知事表彰のご受賞をおめでとうございます。

氏名	住所	主要経歴
二階堂清勝	登米市中田町浅水	現統計調査員
調査統計功労		
山田 清幸	登米市東和町錦織	現登米市消防団副団長
菅原 英義	登米市中田町石森	現登米市消防団副団長
佐々木正志	登米市津山町柳津	現登米市消防団副団長
佐々木建待	登米市南方町峯	現登米市消防団副団長
秋山 光穂	登米市登米町日野	現登米市消防団副団長
消防防災功労		
佐藤 厚史	登米市南方町畑岡	現医療法人社団厚和会 佐藤医院 理事長兼院長
保健衛生功労		
只野 良武	登米市南方町堤田	元民生委員児童委員
民生安定功労		
柳生心眼流甲 胃柔術保存会	登米市迫町新田	
相沢 隆夫	登米市登米町寺池	元宮城県バスケット ボール協会常任理事
教育文化功労		
岩淵 吉郎	登米市中田町石森	現みやぎ北上商工会会長 土地改良区理事長
伊澤 晃	登米市豊里町内	元登米市豊里町 土地改良区理事長
産業功労		
千葉 和典	登米市石越町北郷	元登米市議会議員
佐々木康明	登米市登米町寺池	元登米市議会議員
阿部 正一	登米市迫町北方	元登米市議会議員
地方自治功労		



柳生心眼流甲胃柔術保存会30周年記念演武大会



朝の街頭ご挨拶

お問い合わせ

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所  
所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大綱 534  
TEL：0220-23-7757 FAX：0220-23-7838  
E-Mail：info@watanabe-chuuetu.jp  
オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuuetu.jp>

渡辺忠悦 検索



この度事務所を移転しましたので近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいのでお話を聞かせ下さい。



# 議会 PIC UP! 国保問題



## 一般質問

農家や自営業者が出産や育児で休業した場合の国民健康保険における手当の創設について、地方創生の一環として国に働きかけるべきと思うがいかがですか。

## 【答弁】村井宮城県知事

共済組合や社会保険の場合、雇用関係を前提とした給与・休業制度による産前産後休暇及び育児休業に対する手当が、法律で定められております。

一方、国民健康保険には、出産一時金の

制度はありますが、雇用関係がない方が被保険者の中心となっていることから、休業の定義や補償すべき額をどうするかなどの問題があり、社会保険等と同様の手当を設けることは、制度上なじまないのではないかと考えております。

## 第350回 定例会

### 宮城県議会記念式典 が行われました

宮城県議会では350回の節目を迎えた記念式典で、宮城県気仙沼市出身・在住のシンガーソングライターの熊谷郁美さんが11月26日県議会議事堂本会議場でコンサートを行いました。約30分のステージでは、代表曲『雲の遥か』や新曲『約束』など5曲をピアノの弾き語りで披露。心に深く染み渡る素晴らしい歌声が議場に響きわたり場内は感激の渦に包まれました。

その後、三菱総研の小宮山宏先生による記念講演が行われました。



## 活動アルバム



特別委員会（岩手県議会）



新田乙線橋建設促進陳情（県知事室）



村井知事登米市に産業視察（東和砕石様にて）



国際経済活性化への取組みについて（青森県議会特別委員会）



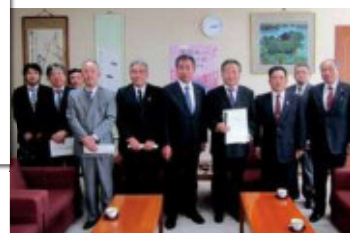
長沼地権者会解散式（石碑の前で）



南方西郷地区新年へらへらトーク（庄司恵子、棕沢かすみ母子と共に）



農林水産環境常任委員会



県立医科大学についての陳情